



宗次ホールコンサートシリーズ  
世界のカルテット ∞ カルテットの世界

SQ.50

自然で自由な語り口、刺激的だがまろやかなアクセント  
それは穏やかな夢見るような幸福感を与えるものだった  
(Strings Magazine 誌)



クリストフ・コレット (第1ヴァイオリン) マルク・ヴィエーユフォン (第2ヴァイオリン) ヴァンサン・ドゥブレク (ヴィオラ) セドリック・コンション (チェロ)  
*Christophe Collette, 1st Violin Marc Vuillefont, 2nd Violin Vincent Deprecoq, Viola Cedric Conchon, Cello*

# Quatuor Debussy

## ドビュッシー弦楽四重奏団

フランス、リヨンを本拠地として活躍、トップクラスのコンクール、エヴィアン国際弦楽四重奏コンクールの大賞の栄誉を受け、主にフランス、ヨーロッパ、アジア、北アメリカで年間80回のコンサートをこなしている。最近のアメリカ公演では、ワシントンDC、ニューヨーク、サン・ディエゴ、セントルイス、オースティン、デトロイト、リトルロック、ピッツバーグの主要都市を含む多くの都市で公演、好評を博す。2001年、2004年に来日絶賛を博す。現在、かねてから好評の自国の作品、ドビュッシー、ラヴェルはもとより、ラロー、ルクー、ならびに、後期ロマン派に属するボナル(Ermend Bonnal)の紹介に努め、最近の演奏会では、ショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲の全曲、ヤナーチェク、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、ブラームスにも力を注いでいる。

1998年ドビュッシー弦楽四重奏団は、フランスのアリオン・レーベルとの10年間の契約を結びフランス音楽特集、ショスタコーヴィチ全集のレコーディングを開始。

2004年6月にフォーレとラヴェル、10月にはショスタコーヴィチの第5集をリリース。また、ボナルの2曲のカルテット、ブラームス、ウェーバーのクラリネット五重奏曲、オンスロー、ローデ、また、ル・モンド紙にてショク賞を受けたウーベルンの弦楽四重奏曲全集(ハルモニア・ムンデイ)などリリース、好評を博している。

近年ショスタコーヴィチ全集を完成。又2008年にはモーツァルトのレクイエムの弦楽四重奏版(ビーター・リヒテンタール編)をリリースし希少版として話題をさらっている。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

### 宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は  
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

### 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



宗次ホール

Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00~18:00  
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)